

新潟県の郷土食に関する研究 (第4報)*

行 事 と 行 事 食 (その3)

本間伸夫, 渋谷歌子, 目黒香代, 佐藤恵美子, 石原和夫

(1979年1月16日 受理)

Foods and Meals in Niigata Prefecture (IV)

Year's Regular Functions and Foods Prepared for the Functions (3)

Nobuo Honma, Utako Shibuya, Kayo Meguro,

Emiko Sato, Kazuo Ishihara

緒 言

前報^{1,2)}において新潟県下における年間行事とその行事に伴う特別食 (行事食) について報告したが, その特別食の入手方法についても同時に調査したので, 結果をまとめて報告する。

調 査 方 法

1) 調 査 事 項

前報^{1,2)}において調査した年間行事, 冠婚葬祭とそれに供する食品 (特別食, 行事食……穀類食品に限定) の種類に加えて, それら食品の入手方法を調査した。調査内容は第1表に示した。

2) 調査方法, その他

すべて前報^{1,2)}と同時に行なったもので, その詳細は前報¹⁾に記載。

結 果 お よ び 考 察

調査結果をまとめて, 第2, 3, 4表に示した。

第2表に食品別の入手方法を示したが, ほとんどの食品は大部分が自家製である。市販されていないもの, 或いはかなり特殊なもの, 例えば粥類, たいごろう, けんさん焼きは100%自家製である。その他の食品 (食品番号28) も特殊なものばかりであるためか100%自家製である。

逆に購入が普通であるのが菓子類であって, その行事との関連をみるとデコレーションケーキが主

* 前報は文献²⁾

第1表 アンケート調査カード

特別食の欄に該当するものがありましたら、下記の特別食の番号と入手方法についての記号を記入して下さい。

行 事・祭 り			特 別 食	行 事・祭 り			特 別 食
1/1～3	正	月				
1/7	七	草		運 動 会			
.....				例 1/1～3 正 月			
.....				9 — イ 19 — ロ			
特 別 食							
1	笹だんご (だんごまき)				
2	ちまき (まきを含む)				
3	よもぎ (草) だんご				
...		27	菓子 (ケーキなど)			
...		28	そ の 他			
入 手 方 法							
イ	家で作る		ホ	家で作る場合と買う場合とがある			
ロ	市販品を買う		ヘ	依託する			
ハ	人から貰う		ト	そ の 他			
ニ	以前作ったが今は買う						

体であるが手造り派もかなりいる。まんじゅうも市販品購入が多い。これはまんじゅうが主として冠婚葬祭に用いられ²⁾、接客用であるためと考えられる。

市販品購入がかなり多いのは菓子類の他に生ずし、そば、うどん・素麺である。生ずしについては、上越地方ではかなり多いが、自家製の割合もまた高い。押しずしも大部分が上越地方であり、そのほとんどが自家製である。上越地方は魚を用いるすしについての高い技術の伝承を窺い知る事ができる。

だんご類は圧倒的に自家製であるものの、食する習慣が強く、かつ市販もされているものは市販品購入に一部の家庭が移り変わるものと考えられる。笹だんご、ちまきにその傾向をみることができる。特殊なだんごでは当然の事ながら自家製が大部分である。白玉だんごの市販品は不思議であるが、何でも売られている時代であるので、売られているのかも知れない。

餅類も圧倒的に自家製であるが、このかなりの道具や技術を必要とする餅造りに自家製の割合が依然として高いのは、家庭用餅つき機が普及したためと考えられる。しかし餅類の場合も市販品購入や依託加工がかなりあり、今後この方法に移り変わるものと考えられる。特に都市部ではこの傾向が強いものと推察されるが、現に白餅についての新潟地区のデータを抜き出してみると、自家製31.6%、市販品購入36.8%、貰う31.6%、他はなし、となっている。さらに正月の餅について、新潟地区の場合をみると、自家製33.3%、市販品購入25.0%、貰う41.7%となっており、何処から貰うのであろう

第2表 特別食入手方法とその割合*——特別食別

食 品	入手方法						特別食	入手方法					
	(イ) 自家製	(ロ) 市販品購入	(ハ) 貰う	(ニ) 以前(イ)、現在(ロ)	(ホ) (イ) または (ロ)	(ヘ) 依頼加工		(イ) 自家製	(ロ) 市販品購入	(ハ) 貰う	(ニ) 以前(イ)、現在(ロ)	(ホ) (イ) または (ロ)	(ヘ) 依頼加工
1 笹 だ ん ご	88 71.0	6 4.8	10 8.1	13 10.5	7 5.7		16 お こ わ	87 90.6	2 2.1	3 3.1	2 2.1	2 2.1	
2 ち ま き	105 84.7	1 0.8	7 5.7	8 6.5	3 2.4		17 変 り 飯	120 99.2	1 0.8				
3 よもぎだんご	23 92.0	1 4.0	1 4.0				18 おはぎ・ぼた餅	327 95.6	7 2.1	3 0.9	3 0.9	2 0.6	
4 あんだんご	50 100						19 生 ず し	40 63.5	16 25.4		1 1.6	6 25.4	
5 かやくだんご	4 80.0			1 20.0			20 のり巻・いなり	246 96.1	6 2.3			4 1.6	
6 白玉だんご	76 96.2	1 1.3			2 2.5		21 押 し ず し	44 93.6	1 2.1	1 2.1		1 2.1	
7 白 だ ん ご	131 97.8	1 0.8			2 1.5		22 けんさん焼き	9 100					
8 たいごろう	4 100						23 小 豆 粥	73 100					
9 白 餅	600 89.2	36 5.4	9 1.3	7 1.0	9 1.3	12 1.8	24 七 草 粥	54 100					
10 あ ん 餅	185 93.0	4 2.0	6 3.0	3 1.5	1 0.5		25 そ ば	62 46.6	61 45.9		5 3.8	5 3.8	
11 あられ・かた餅	37 84.1	4 9.1	1 2.3	1 2.3	1 2.3		26 うどん・素麺	44 65.7	20 29.9	1 1.5	1 1.5	1 1.5	
12 草 餅	52 89.7	1 1.7	3 5.2		2 3.5		27 菓 子 類	22 11.1	153 77.3	4 2.0		19 9.6	
13 笹 餅	49 98.0		1 2.0				28 そ の 他	25 100					
14 ま ん じ ゅ う	26 38.8	41 61.2					全	3,061 84.6	371 10.3	58 1.6	47 1.3	69 1.9	12 0.3
15 赤 飯	478 96.0	8 1.6	8 1.6	2 0.4	2 0.4								

* 上段：特別食数，下段特別食数×100/特別食数合計（特別食ごと），空欄は数値0。

か。一般に特別食の場合，貰うという場合がかなりあり，お互い贈り合って年中行事を祝い合うという意味で楽しい習慣かも知れない。

おはぎ・ぼた餅も市販品購入がかなり認められる。日常生活で食べるのではなく，行事のために食べるのであり，真の餅と違って比較的容易に作れるのであるから，あまり手作りが減らない事が期待される。

赤飯，おこわについても同様の傾向が認められるので，おはぎ・ぼた餅と同じ事が期待される。生活にリズムをつけるために季節おりおりの行事を行い，その行事を手作りの特別食で祝うという事は人間生活を豊かにするのではなかろうか。

第3表 特別食入手方法の割合*—行事別

行事	入手方法						行事	入手方法					
	(イ) 自家製	(ロ) 市販品購入	(ハ) 貰う	(ニ) 以前(イ)、現在(ロ)	(ホ) (イ)または(ロ)	(ヘ) 依頼加工		(イ) 自家製	(ロ) 市販品購入	(ハ) 貰う	(ニ) 以前(イ)、現在(ロ)	(ホ) (イ)または(ロ)	(ヘ) 依頼加工
1 正月	201 83.8	15 6.3	11 4.6	3 1.3	6 2.5	4 1.7	22 はつさく朔日	37 100					
2 七草	112 98.2	1 0.9			1 0.9		23 うら盆	137 85.6	17 10.6	4 2.5		2 1.3	
3 蔵開き	74 92.5	6 7.5					24 十五夜月見	118 91.7	8 6.6			2 1.7	
4 小正月	154 88.0	10 5.7	1 0.6	3 1.7	4 2.3	3 1.7	25 彼岸(秋)	171 94.5	7 3.9	3 1.7	1 0.6	1 0.6	
5 蔵入り	31 91.2	2 5.9		1 2.9			26 かがし引き	6 85.7			1 14.3		
6 二十日正月	96 91.4	6 5.7		1 1.0			27 神送り	25 100					
7 天神講	47 85.5	6 10.9	1 1.8	1 1.8			28 刈上げ	83 94.3	1 1.1	3 3.4		1 1.1	
8 いんのご正月	8 100						29 えびす講	18 94.7			1 5.3		
9 くつわ朔日	56 98.2	1 1.8					30 神迎え	22 100					
10 節分	36 83.7	5 11.6			2 4.7		31 大師講	47 97.9		1 2.1			
11 初午	24 96.0	1 4.0					32 クリスマス	30 18.8	108 67.5	5 3.1		17 10.6	
12 十二講	13 100						33 大晦日	41 36.9	60 54.1		4 3.6	6 5.4	
13 ねはん会	17 100						34 春祭り	125 89.3	6 4.3	4 2.9	2 1.4	3 2.1	
14 ひな祭り	142 89.9	12 7.6		1 0.6	3 1.9		35 夏祭り	77 89.5	4 4.7	2 2.3		3 3.5	
15 彼岸(春)	192 94.1	3 1.5	4 2.0	1 1.0	3 1.5		36 秋祭り	97 89.0	5 4.6	3 2.8	1 0.9	3 2.8	
16 花祭り	39 100						37 結婚祝	76 85.4	12 13.5		1 1.1		
17 田植え	100 95.2	1 1.0	3 2.9			1 1.0	38 出産祝	104 83.2	19 15.2		2 1.6		
18 端午の節句	168 81.2	3 1.5	12 5.8	16 7.7	8 3.9		39 葬式	54 71.1	21 27.6		1 1.3		
19 えんま市	14 77.8			2 11.1	2 11.1		40 法事	61 70.1	23 26.4		3 3.5		
20 きんぬぎ朔日	71 97.3				1 1.4	1 1.4	41 運動会	99 92.5	6 5.6			2 1.9	
21 七夕	33 97.1	1 2.9					42 その他	15 93.8		1 6.3			

* 上段：特別食数，下段下段：特別食数×100/特別食数合計（各特別食ごと），空欄は数値0

そば、うどん・素麺は市販品購入の割合がかなり高い方である。うどん・素麺の市販品購入の割合が高いのは若干不思議であり、材料としての麺そのものの購入の数値が一部混じたのではないかと考えられる。

行事別についての検討はあまり意味はないが、第3表の如くまとめる事ができる。特徴あるのは年中行事ではクリスマス、大晦日であり、ともに市販品購入の割合がとび抜けて高い。これは市販品購入率の高いデコレーションケーキとそばが主要なる行事食であるためである。

また冠婚葬祭のうち前三者の市販品購入率が高いが、これはまんじゅうの割合が高いためと考えられる。

地域別についてみると、新潟地区が特異的であり、自家製以外の項が多くなっている（第4表）。この事から農家、非農家の違いがでるものと予想されるが、調査対象家庭の職業を調査していないので、それにより分ける事はできない。幸いにして生活改善普及員による調査では、対象が農家（専業、兼業は別にして）と考えられるので、それにより二群にわけて算出し第5表に示した。農家とそれ以外の職業家庭を含む一般よりも、農家を主とする生改の方が自家製の割合が高い。原料その他が身近かにある事からすれば当然の事と考えられるが、時間的余裕のある限り、この自家製を維持して行ってもらいたいものである。

第4表 特別食入手方法とその割合*——地域別

入手方法 地 域		(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)	(ヘ)	入手方法 地 域		(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)	(ヘ)
		自 家 製	市 販 品 購 入	賃 う	以 前 (イ)、 現在 (ロ)	(イ) また は (ロ)	依 託 加 工			自 家 製	市 販 品 購 入	賃 う	以 前 (イ)、 現在 (ロ)	(イ) また は (ロ)	依 託 加 工
上 越	西 頸	46 85.2	7 13.0	1 1.9				下 越	西 蒲	100 62.9	45 28.3	3 1.9	2 1.3	6 3.8	3 1.9
	中 頸	447 88.0	46 9.1		5 1.0	9 1.8	1 0.2		中 東 蒲	296 77.3	51 13.3	16 4.2	9 2.4	11 2.9	
	東 頸	161 90.4	13 7.3			4 2.2			北 蒲	277 85.5	30 9.3	5 1.5		6 1.9	6 1.9
	計	654 88.4	66 8.9	1 0.1	5 0.7	13 1.8	1 0.1		岩 船	158 88.8	18 10.1	2 1.1			
	魚 沼	318 86.9	35 9.6		8 2.2	3 0.8	2 0.5		新 潟	100 62.1	28 17.4	20 12.4	9 5.6	4 2.5	
	計	183 80.6	16 7.1	6 2.6	8 3.5	14 6.2			計	931 77.3	172 14.3	46 3.8	20 1.7	27 2.2	9 0.7
中 越	刈 羽	286 90.5	22 7.0		4 1.3	4 1.3		佐 粟	渡	431 94.1	24 5.2		2 0.4	1 0.2	
	長 岡	136 79.1	25 14.5	4 2.3		7 4.1			島	122 91.0	11 8.2	1 0.7			
	南 蒲	923 85.4	98 9.1	10 0.9	20 1.9	28 2.6	2 0.2								
	計														

* 上段：特別食数，下段：特別食数×100/特別食数合計（地域ごと），空欄は数値0。

第5表 特別食入手方法とその割合※——調査対象別

入手方法 調査対象		(イ) 自 家 製	(ロ) 市 販 品 購 入	(ハ) 買 う	(ニ) 以 前 (イ)、 現在 (ロ)	(ホ) (イ) また は (ロ)	(ヘ) 依 託 加 工
一	般*	1,444 78.6	246 13.4	53 2.9	35 1.9	49 2.7	11 0.6
生	改*	1,617 90.8	125 7.0	5 0.3	12 0.7	20 1.1	1 0.1

* 文献¹⁾ 参照。

※ 上段：特別食数，下段：特別食数×100/特別食数合計。

ま と め

前報に引き続き、行事と行事食について全県的調査を行なった結果のうち、特別食（穀類食品に限定）の入手方法についてまとめ報告した。

この行事等に伴う特別食（行事食等）28種のうち、90%以上自家製のもの16、80%以上自家製のもの5、計21であって自家製の割合が高い。しかしケーキなどの菓子類、まんじゅうは市販品購入の方が多く、生ずし、そば、うどん・素麺は購入の割合がかなり高い。一般に笹だんご、白餅、赤飯等の如く食される頻度が高くかつ市販されているものは市販品購入の傾向である。

行事からみると、クリスマス、大晦日の特別食は圧倒的に購入品が多い。また結婚祝い、出産祝い、葬式、法事などでも市販品購入の割合が高かった。

地域的には、新潟、西蒲が自家製以外の入手方法が多くなっている。また調査対象がほぼ農家と考えてよい生活改善普及員に依頼して調査したものと、その他非農家が多い一般とにわけて比較すると、自家製の割合が前者で90.8%、後者で78.6%と後者が低くなっていることを認めた。

報告を終るに当り、本調査に御回答を寄せられた方々、本調査研究に御支援と御協力を頂いた新潟県農林部専門技術員室および各地区の生活改善普及員に深謝致します。

文 献

- 1) 本間伸夫，渋谷歌子，目黒香代，佐藤恵美子，石原和夫：県立新潟女子短大研究紀要，No. 16，101（1979）
- 2) 本間伸夫，渋谷歌子，目黒香代，佐藤恵美子，石原和夫：県立新潟女子短大研究紀要，No. 16，117（1979）